



生きものの“つぶやき”：
「仲良くなりたいなあ…」

エッセイ：

朝、学校に行こうと家を出ると、玄関でアブラゼミがひっくり返っていました。玄関に来るなんて珍しいなと思いながら、人差し指をその子のお腹に置くと、カシッと掴んだので家の木に移動。そのまま学校に行きました。そして、午前で学校が終わり、「そういえば、あの子どもどうしてるかな…」と気になったので、朝乗せたところの枝を覗いてみることに。すると、朝のアブラゼミと、どこからか来たクマゼミと一緒に居ることにびっくり！よく見ると、見つけ合っているみたい。「種類は違うけれど、仲良くなりたい。」と近づきつつも、「隣は

ちょっと恥ずかしい。」と微妙な距離。クマゼミは女の子、朝の子は男の子。対面でお互いが枝から少しだけ見えるんだろなあ、なんて思うと、くすっと笑えてなんだかほっこりしました。(333字)

生きものの紹介:

アブラゼミ:カメムシ目・ヨコバイ亜種・セミ科。北海道から九州、屋久島、朝鮮半島中国北部に分布。成体の体長は56~60mm

ほどになる。名前の由来は、翅が油紙を連想させるため名付けられたという説や、鳴き声が油を熱した時の音に似ているためという説がある。

クマゼミ:カメムシ目・セミ科。南関東、東海、北陸地方と西日本に分布。日本特産種の大型のセミで、成虫の体長は60~70mm

ほどになる。翅は透明で、付け根付近の翅脈は緑色をしている。羽化から数日までの個体は、背中側が金色の微毛で覆われる。

撮影場所・日時:

京都府京都市右京区 2024年7月23日

応募者の自己紹介:

1. 氏名: 東野 桃子
2. 高校・学年: 京都光華高等学校・3年
3. 所属: 華道部、漫画イラスト部

審査員からのコメント:

2匹のセミで青春を表現した感性が素晴らしい。

エッセイも写真も素敵だなと思いました。

2匹のクマゼミはオス同士なのか、それともオスメスなのか、想像力とその後のありえるかもしれないストーリーを色々考えてしまう美しい写真でした。



生きものの“つぶやき”：
「はぁ～落ち着くわぁ」

エッセイ：

家族でいわさきちひろ美術館に行きました。その日は雨が降っていましたが、途中雨があがったので散策をすることに。草木が青々としていて綺麗だなと思いながら歩いていました。すると、黄色い花が一面に咲いている場所を見つけました。「黄色が美しいなぁ」と見ていると少し遠くの花にカエルらしき姿が。近づいてみると、とてもリラックスしている様子。「ここ、景色いいんだよね～。はぁ～落ち着くわぁ。」と手を花卉に手をおいて、うっとり。

高い所からの景色を楽しみながら、花を鑑賞するなんて洒落てますなあ。黄色の花に対して、黄色の目と緑の体。とても絵になるなと思いながらスマホを向けました。(281字)

生きものの紹介:

ニホンアマガエル:アマガエル科・アマガエル属。日本、朝鮮半島、中国東部に分布。体長は2.0~4.5センチほど。樹上の生活に適応しており、水辺の植物の上や森林などに生息する。春から秋まで活動し、冬は温度差の少ない地中で冬眠する。

撮影場所・日時:

長野県北安曇郡松川村西原 2024年7月14日

応募者の自己紹介:

1. 氏名: 東野 桃子
2. 高校・学年: 京都光華高等学校・3年
3. 所属: 華道部、漫画イラスト部

審査員からのコメント:

生き物への優しい気持ちが伝わりました。
写真の構図と色合いも綺麗でした。